令和６年度　入学式　式辞

桜の花びらが、心地よく春風に舞う今日の佳き日、ご来賓・保護者等の皆様のご隣席を賜り、福岡県立若松商業高等学校「第６５回入学式」を挙行できますことは、本校教職員一同、誠に喜びとするところであり、心から厚く御礼申し上げます。

ただいま令和６年度新入生の入学を許可いたしました。第６５期生の皆さん、入学おめでとうございます。在校生はもとより、すべての関係者が皆さんの入学を心より歓迎いたします。

本校は、昭和３５年４月に、福岡県立若松高等学校商業科が分離独立して設置され、今年で創立６５年目を迎える歴史と伝統のある県立商業高校です。
創立以来、校訓である「自律・創造・協力」を旨とした教育活動を行い、専門的な知識と技術を身につけた人材の育成に努め、１万４千７００名余りの卒業生を有し、地域社会から大きな評価をいただいています。

さて、新入生の皆さん、今の気持ちはどのようなものでしょうか。これから始まる高校生活に向けて、期待と不安が入り交じった表現のしようがない気持ちだと思います。ここで、高校生活を送る上での心構えとして、２つのことを皆さんにお願いをします。

一つ目は、「色々なことにチャレンジ、挑戦する」こと。皆さんは、まだ自分自身が気づいていない「個性や特技」があります。その「個性や特技」は、皆さんから発見されるのを待っています。どうぞ本校での高校生活において、勉強や部活動、学校行事そして各種用意されている商業の資格試験等に積極的にチャレンジ、挑戦してください。チャレンジ、挑戦をする姿勢は、必ず君たちを成長させます。
今もなお、プロサッカー選手として現役を続ける５７歳の三浦知良選手の次の言葉を紹介します。「常に何かに挑戦していれば、輝きは失わない。挑戦して、その結果が、成功だとか、失敗だとかではない。挑戦した時がもう成功といえるのだ。」どうぞ皆さん、これから始まる高校生活において、色々なことにチャレンジ、挑戦する姿勢をもって過ごしてください。

二つ目は、「自分の未来を信じる」こと。高校時代は、とても多感な時期で、ちょっとした不安や失敗にくじけそうになるときがあります。私もそうでした。そのようなときは、「この失敗は、きっと未来の自分に役に立つ失敗だ」とプラスに考えるようにしてください。私は、不安や心配が人を成長させると考えます。どうぞ少々の不安や失敗にくじけることなく、自分の未来を信じ、前を向いて過ごしていってください。皆さんには、自分らしく輝く未来が待っています。

以上、「色々なことにチャレンジ、挑戦する」そして「自分の未来を信じる」この２つことを、高校生活を送る上での心構えとして皆さんにお願いします。

終わりに、高い所からではございますが、保護者等の皆様に一言、御挨拶を申し上げます。本日より、お子様をお預かりすることになります。私ども教職員は、お子様が将来、自分らしく輝くよう、常に愛情を持って、時に優しく、時に厳しく、全力を挙げて日々の教育活動に取り組んでいく所存です。そのためにも、学校と家庭が相互に協力し、連携することが必要であると考えます。どうぞ、本校の教育方針をご理解いただき、ご支援とご協力をお願い申し上げまして、式辞といたします。

令和６年４月９日

福岡県立若松商業高等学校
校長　長野　満晴